

「TTL開放測光露出計」を初めて内蔵した一眼レフ

登録番号	第 00288 号		
登録年月日	令和2年9月15日	登録区分	第一種

名称 (型式等)	トプコン REスーパー
所在地	東京都千代田区
	一般財団法人 日本カメラ財団 日本カメラ博物館
所有者 (管理者)	一般財団法人 日本カメラ財団 日本カメラ博物館
製作者(社)	東京光学機械株式会社 (現：株式会社トプコン)
製作年	1963年
初出年	1963年
選定理由	電気式露出計を組み込んだ一眼レフは1960年頃には存在したが、被写体像を直接観察できる一眼レフの特徴を活かすには、撮影レンズを通った被写体光を測るTTL(Through the Lens)測光が理想である。本機は、ミラーにスリットを設け、その裏に特殊な測光素子をおいたミラーメーターを開発しTTL測光を初めて実現した35mm一眼レフである。さらにレンズに絞り値情報をボディに伝える機構を設け、開放測光を実現するなど先駆的な機能も搭載した。この方式は有力な特許となり追随したほとんどのカメラメーカーは許諾を得てこの特許を使用することとなった。同時期にシステムの一環として製品化された300mm/F2.8 レンズやレトロフォーカス広角レンズ等も高く評価された。優れたシステム性と先進的な機能を独自の技術で実現したカメラとして重要である。
登録基準	ーロ (国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの)

公開・非公開	公開
--------	----



その他参考となるべき事項	
--------------	--